



ごみの出し方など、利用者同士で解決できない場合の対応

市民共同 齊藤雄二 議員

問 家庭系ごみの集積所の利用について、設置場所やごみの出し方など、利用者同士で解決できない場合の対処方法はどのようになるのか。

答 ごみの出し方やごみ集積所の位置などについて利用者間での話し合いがつかず、担当の廃棄物資源課に相談が寄せられるケースが多くある。このような場合は、職員が相談者のお話をまず伺うため

に、必ず現地へ出向き集積所の利用状況を確認の上、当事者に申し入れや提案を行うなどの対応をしている。今後も問題の内容によって細かな対応の仕方は異なるが、可能な限り相談者のお話を伺い、丁寧な対応に努める。



ヤングケアラーの実態把握から相談・支援体制の構築を！

立憲民主党 菊地慶太 議員

問 ヤングケアラーの問題は、本人に自覚がないまま重い負担がかかり、学業との両立が難しくなるなど、子どもの権利が守られない状態が懸念される。ヤングケアラーの実態把握を行い、相談・支援につなげるべきではないか？

答 実態把握は大変重要である。国や県、他自治体の取組を十分に研究し、検討する。

問 専門相談員による相談窓口を開設し、適切な支援につなげる体制を整備すべきではないか？

答 現在、各窓口で受けた相談を関係機関との連携によって、支援につながるよう包括的な相談支援の体制整備について検討を進めている。相談しやすい窓口の在り方や設置については、他市の事例を踏まえ、研究・検討する。



マスクをつけられない人に対する支援について

公明党 石川祐一 議員

問 マスクを着用したくても着用が困難な方たちに対する取組について、市の現状は？

答 「マスクをつけられません」という意思表示カードのサンプルを作成し、ダウンロードして使用できるよう対応を行っている。

問 草加市でも、バッジを作成するほうがよいと思う。今後の取組について、市の考えは？

答 マスク等の着用が困難な方が、安心して日常生活や社会生活を送ることができるよう、缶バッジ等を500個作成し、希望される方に配布を行う予定。配布場所は、主に障がい福祉課窓口及び子育て支援センター等を予定。市のホームページで周知を図っていきたいと考えている。



ヤングケアラーへの重層的な支援の取組について

公明党 広田丈夫 議員

問 ヤングケアラーの支援について学校でも対応できることは多い。ただし全て解決できるわけではない。教育、医療、介護、行政の福祉機関、子ども食堂や児童委員などの民間の目など重層的な支援について、どう取り組むのか。

答 現在、教育や介護の現場、子ども食堂や民生・児童委員などの地域の目から様々な相談を受け、コミュニティ

ソーシャルワーカーなどが関係機関などと連携し、支援体制の整備を進めている。ヤングケアラーについても、重層的で包括的な支援体制の整備に向け取り組んでいく。



草加柿木フーズサイトにおける市民の雇用について

公明党 金井俊治 議員

問 草加柿木フーズサイトにおける市民の雇用についてどのような状況が見込めるのか。市としても例えば広報「そうか」に雇用の募集記事を掲載するなど、様々な方法が考えられると思うが、積極的な取組をするべきではないか。

答 現時点での進出予定企業のニーズを集約したところ、各企業の操業開始時期にばらつきがあることなどから、全

体での面接会ではなく個別面接会の実施を希望する声が多く、ハローワーク、埼玉県、草加地区雇用対策協議会、草加商工会議所等の関係機関と緊密に連携を図り、各企業の操業開始時期などのニーズに対応しながら、個別面接会を数多く開催するなど、企業から市民に向けた雇用の情報発信などについて積極的に支援を行っていく。



香りの害「香害」について、認識してもらうための周知を

公明党 飯塚恭代 議員

問 人工的な強い香りの柔軟剤や合成洗剤、消臭剤などが一気に広がり、それとともに香りへの相談件数が増加している。頭痛、吐き気などの体調不良や呼吸障害を起こす場合がある。香害についての認識をしていただくためのポスターを作成し、公共施設やホームページ、広報「そうか」への掲載についての考えは。

答 分かりやすいポスターの

作成などを行い、公共施設等への掲示のほか、市のホームページや広報「そうか」にも掲載するなどして、より多くの市民の皆様に香害が体調不良の原因になることを、まずは知っていただき、理解してもらえる取組を進めていく。

